

広報

びらとり12・1

2017

2018

みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。



北海道日本ハムファイターズ応援大使 2018 決定！

特集	平取町長年頭のごあいさつ	… 2
	北海道日本ハムファイターズ平取町応援大使決定	… 3
	道南バス・路線バスアナウンス～アイヌ語で案内開始	… 4
	人権啓発活動実施	… 5
	2017を振り返る・活躍 この人	… 6
	まちのひろば	… 8
	教育委員会からのお知らせ	… 11
	図書館へいこう	… 17
	食育だより	… 10
	すこやかだより	… 16

謹賀新年

川上町長 年頭のごあいさつ



世界情勢でもありました。今後はこのようなことが続かないことを願うのみです。

る平取町出身者やゆかりのある方を会員とした「北海道びらとり会」が設立されました。設立総会では、ふるさとの懐かしさや、今の平取町の姿に驚かれていました。札幌、苫小牧びらとり会に続き設立され、それぞれ平取の応援団となつていただくことを期待しています。

謹んで年始のごあいさつを
申し上げます。希望に満ちた
新春を皆様とともに迎えられ
ますことを心から感謝申し上
げます。

昨年においても、皆様から
のあたたかいご支援ご協力を
賜り、町政運営に取り組むこ
とができましたことに厚くお
礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、町内では大きな災害もなく、基幹産業の農業も順調に生産額を伸ばすことができました。しかし、北朝鮮からのミサイル発射があり、2度も北海道上空を通過し太平洋上に落下するなど、極めて緊張する

また、平取町民芸品共同作業場改築事業や二風谷アイヌ文化博物館の改修および周辺の再整備事業など、アイヌ文化の振興にも努めてきております。

30年度は病院本体の完成に向け引き続き工事が行われます。町民の皆さんのが、快適、安心して利用できるように木造を一部採用した「ハイブリット型木造病院」として平成31年度の開院を予定しております。

さらに、7月30日に平取ダムの定礎式が行われ、本格的な築造に向けダムの永久堅固と安泰を願いました。今後、流域の安全確保のため工事が無事に進められ、早期の完成を望むものです。

い財政状況の中、事業の選択をしながら今年も総合計画に基づき、まちづくりを進めていきたいと考えております。地方の自治体を取り巻く環境は、依然として厳しい状態が続くものと予想されますが、住み良いまちづくりをめざし、町議会と連携の下、全力で町政に取り組んでまいります。結びに町民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ年頭のごあいさつといたします。

平取町長
川上
滿

初春をお慶び申し上げます	町議会議長	鈴木修二
	同 副議長	千葉良則
	同 議員	松澤以久子
	同 議員	松原俊幸
	同 議員	櫻井幹也
	同 議員	丹野信一
	同 議員	井澤敏郎
	同 議員	藤澤佳宏
	同 議員	中川嘉久
	同 議員	貝澤真澄
	同 議員	高山修
	同 議員	四戸正彦
代表監査員	（議席順）	（議席順）
農業委員会長	山田和博	遠藤裕昭
選挙管理委員長	宮入司	鈴木透
公平委員長	千葉良則	福原謙吉
国保運営協議会長	遠藤裕昭	福原謙吉
民生児童委員協議会長	鈴木透	遠藤桂一
副 町 長	庄野剛	庄野剛
教 育 長		

北海道日本ハムファイターズ 平取町2018年応援大使決定



井口 和朋選手
背番号 29番



中田 翔選手
背番号 6番



北海道日本ハムファイターズは、選手が北海道内の全市町村のみなさんと交流を図りながらまちづくり・まちおこしに寄与していく「北海道179市町村応援大使」を2013年から始めていきます。

11月26日の北海道日本ハムファイターズファンフェスティバル2017が札幌ドームで開催。

その結果、「中田翔選手」と「井口和朋選手」が応援大使に決定しました。

会場には、石川大地くん（平小6）と石川優斗くん（平中2）、も同行し、喜びで盛りあがりました。

今後、地域活性化や平取町のPRなど1年間ご協力い

ただけます。そのイベントの中で、「179市町村応援大使2018抽選会」が行われました。平取町から、代表者の稻原永久（とわ）くん（平小6）が、ステージ上に用意された青い幕の向こう側から

手を出してくれる選手と、握手での抽選で引き当てました。

30年は、中田選手、井口選手を迎えてのトークショーや、ファイターズ観戦ツアー、応援グッズ制作・販売などを予定しています。

中田選手、井口選手の活躍を祈るとともに、平取町に来てもらえることを期待します。

さらに、平取町は今まで以上に、応援大使お二人と北海道日本ハムファイターズを全力で応援していきます。



道南バス株車内案内「アイヌ語で」

アイヌ文化への関心を高めてもらうために、 日本語の後にアイヌ語でアナウンス

平成 25 年からスタートしたイランカラブテキャンペーンの推進は、国、自治体など、学術機関、アイヌ関係団体により構成する推進協議会が担い、5 年目を迎えました。

内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室は「イランカラブテ」というアイヌ語の挨拶をキャッチフレーズとしつつも、これまでに「アイヌ語」を核とする取り組みは実施されていないことから、大学の研究者や自治体などと協議する中、一般の方にアイヌ語を身近に感じていただくことができる取り組みとして公共交通におけるアイヌ語アナウンスの実施を検討しています。

実施路線としては、アイヌ文化の伝承活動に熱心な平取町を中心に走るバスへの採用を検討し、この度、内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室と平取町が道南バス株への実施に向けての協力要請を行い、平成 30 年 4 月から実施に向けて具体的な検討を進めることになりました。

【具体的な検討内容】

路線バス：平取町内の区間と合わせて、各路線の始点（出発時）などのアナウンスをします。

- 日高ターミナル～札幌駅前ターミナル（高速ひだか号）
- 日高ターミナル～苫小牧駅前（特急ひだか号）
- 日高ターミナル～富川高校前

期間：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

内容：あいさつ、行き先、アイヌ語由来の地名の紹介など

その他：リーフレット～アイヌ語アナウンスの解説やアイヌ語地名の紹介

ポスター・ステッカー～取り組み内容を PR するポスターと車内・外に
アイヌ語アナウンス実施中のステッカーの作成



道南バス(株)代表取締役
社長 石橋 博信 氏

道南バス(株)社長

石橋 博信 氏
今の思いをお聞きしました。

私は、地方で活躍したいとの思いから大学卒業後、平取町役場に奉職し町営温泉や教育委員会、会計管理者などの職を歴任させていただきました。その中でも、萱野茂さんの二風谷アイヌ資料館でアイヌの古老人の聞き取りテープ整理の手伝いを行ったり、博物館勤務時代には、「アイヌ伝統文化の今日的継承」の理念のもと、町の特色ある文化を生かした行政をめざして、二風谷を中心とした沙流川流域の伝統的生活空間整備構想、イウォロの提案に携わったことから、アイヌ文化は平取町にとって大事な財産であるとの強い思いがあります。

役場を退職後、縁があり道南バス株式会社に在職することに

なりました。弊社の事業エリアにおいて、平成 32 年に白老町で国立アイヌ博物館、国立民俗共生象徴空間が開設することとなり、私としては、平取町でアイヌ文化の振興発展のための仕事に携われたのも数多くの町民のみなさんのご協力があったからこそとの思いから、今回、内閣官房、平取町からのバス車内におけるアイヌ語アナウンス導入の要請については、人一倍、深い思いがあるほか、地元企業としてアイヌ文化のために発展のために貢献できるものと思っております。

今回の内閣官房、平取町の取り組みについては、白老町での国立アイヌ博物館などの開設前にアイヌ文化を多くの方々に知ってもらえる機会が増え、胆振と日高地区をアイヌ文化を通しての結びつきが強くなることで、外部からの人の交流が拡大することを大変期待しております。今後も、アイヌ文化の振興のための取り組みを通じ、私の第二のふるさとである平取町のさらなる発展を願い、私の思いとさせていただきます。

人権啓発活動実施

29年度人権啓発活動地方委託を受けて、人権の花運動、人権講演会、人権図書コーナーをとおし、住民のみなさんに、「言葉の大切さ・心の大切さ」などを伝えるため実施しました。



紫雲古津小学校



平取小学校（3年生）



平取小学校（4年生）



二風谷小学校



貫気別小学校



振内小学校



平取中学校・平取養護学校



振内中学校

お花の配色を考えながら一生懸命に植えました。それ花壇か学校前にプランターを、また、平取中学校から養護学校の間のあいさつ道路もプランターで飾りました。

人権擁護委員から、「私たちが一人ひとりみんな違うように、花たちもみんな違う。一つひとつのが、今何を言いたいのか、どうしてほしいって思っているのか見守ってあげてください」と伝え、お花に水をあげることや、家族やお友だちへの思いやりにも繋がりました。

また、平取中学校から養護学校の間のあいさつ道路もプランターで飾りました。



人権の花運動は4月から6月に、小学校5校、中学校2校にて一部養護学校生も参加し実施しました。児童も生徒も、お花の大切さを考へながら一生懸命に植えました。それ花壇か学校前にプランターを、また、平取中学校から養護学校の間のあいさつ道路もプランターで飾りました。

10月には、詩人・童話作家のこやま峰子先生、小学校教諭の佐藤広也先生を講師に、人権講演会を開催しました。

こやま先生著書の「たからものがいっぱい」「あいたかったよ」など多くの本に、大切なことやいじめなど日々の生活の中のこと、佐藤先生とのトークでわかりやすく伝えました。絵本を読んでわかること「今を大切にすること。命を大切にすること」など。参加者からは「童話の世界にふれて新鮮な気持ちをもてた」の感想がありました。

町民のみなさんにも、人権のことを身近に感じてもらいたいため、全戸にメッセージを入れたカレンダーを配付しました。

人権講演会参加高校生の感想（まちづくり課職場体験者）

●平村 星也（2年）

ユニセフや赤十字委員会、難民を助ける会など数多くの機関に属され、本を書くため国内と他国を飛び歩くと聞き、そのアクティビティが想像に難く意外だった。

紹介された本に、広島が爆発した際に残った石のお話しや、がんを思った子の書いた詩を基にした内容のものなど、深い理解と知識が必要そうな事柄を、小さな子ども向けの本にしていることを、とてもすごいと感じた。

●原田 麻衣（2年）

「たからものがいっぱい」の話では、キューバの子どもたちのたからものの絵をどうして使おうと思ったのかや、その国がどのようなところかを交えて話され、非常に理解しやすかった。

こやまさんの絵本の中にある文は、詩人であることを感じさせて、より考えさせるものでした。講演後にこやまさんの本を読んで理解を深めたいと思いました。

2017振り返る年を

- 1月 消防出初式（振内）
- 2月 成人式
- 3月 駒大苦小牧吹奏楽局演奏会
- 4月 地域おこし協力隊報告会
- 5月 生活支援ハウスきずな開所式
社会福祉バス
「びらっくる」運行開始
すずらん観賞会
- 6月 平取義経なるご会
第26回YOSAKOIソーラン祭り
北海道びらとり会設立総会



この人

始めたネット体験。やれば飽きない。なんとかできる。

活動 老人クラブに声をかけてもらったことをきっかけに、貴気別ネットサークルに2年ほど前から参加しています。

会場 第2第4水曜日に貴気別福祉センター

内容 携帯電話を持っていなかったので、タブレットを使うの初めて。教えてもらって、すぐに覚えるけど忘れる。でも、教えてもらえる。とても勉強になる。

家では タブレットを見ると、会員が「おはよう」「忙しい」「花がきれい」「天気が良い」「天気が悪い」など簡単に入れるので、離れていてもお互いの様子がわかるのが良いですね。

平成30年は 今回、年賀状づくりができるようになり勉強になった。この会に1人でも増えてほしい。これからも努力して、地域のために何でもできるようになりたい。

努力しなかったら何もできない 覚えたほうが自分のためになる



貴気別
本間 義雄 さん
(89歳)

エカシの記憶を巡って展示会に感謝。貴重な機会。

活動 4月～5月に、二風谷アイヌ文化博物館で、川奈野一信さんの展示会開催。

見学 エカシの記憶を巡って～昭和のアイヌの暮らし～見てもらえる機会があって良かった。来た人の反応も良かった。

内容 昔、使っていた道具、スキーや自転車。写真で生い立ちを紹介した。物を大事に取っておいたし、写真も今では珍しいものがあったよ。アイヌ文化など、もっと知ってもらいたいです。

家では 平取の訪問者と気軽に話すことから、家に泊めている。この展示会も来た人たちの協力があって実現できた。

平成30年は 30年は、網走でも展示会の開催を予定。元気で人のためになる。人の面倒をみることで、人の役にたちたい。



荷負
川奈野 一信 さん
(83歳)

● 12月 協定調印	● 11月 ● 高校生との意見交換会 ● 町・アイヌ協会・王子木材緑化との 文化祭 ● 日本ハム応援大使決定	● 10月 2017 ● 全町老人の集い ● 戦没者追悼式 ● トマト・和牛フェア ● びらとり沙流川まつり ● 町民マラソン大会 ● 国保病院改築工事地鎮祭	● 9月 ● 戦没者追悼式 ● びらとり沙流川まつり ● ホッカイドウ競馬びらとりデー ● ふれあい広場	● 8月 ● 義経神社例大祭 ● ホッカイドウ競馬びらとりデー ● 幌尻まつり ● 平取ダム定礎式	● 7月 ● 第31回モンキーリバーランド 夏まつり ● 幌尻まつり ● 平取ダム定礎式
---------------	--	--	--	---	--



2017年！



樅の実吟社
会長 事務局
柴田 勲さん 井内 清夫さん
(85歳) (90歳)

樅の実吟社 会員募集。50年継続目前。

活動	樅の実吟社で俳句。あと1年4ヶ月で50年になります。さらに続けていくために、会員を増やしたいです。正直、高齢者が多くなりました。
参加	月1回中央公民館で12人で句会。
内容	俳句は、難しいと敬遠されがちですが、何事も極めようとすれば難しい。私たちは、日常生活の中、また、目にした風景など心に響く感情を五七五と指折りながら俳句にし、楽しんでいます。
平成30年は	全員の句を、毎月句誌発刊。それが、平成31年4月に600号予定。さらに合同句集6巻まであるので、
次回7巻を予定。さらに俳句の楽しさを伝えたい。	



振内町
高野 芳子 さん
(84歳)

振内体力づくりに精勤。休みは1回だけです。

活動	振内体力づくりが町民センターで月2回開催 初年は、冬期のみでしたが、2年目は夏期も実施
参加	この2年内、継続して参加。欠席は1回のみ。
内容	ノルディックウォーキングポールでの運動、ひも状の引くもの、以前はズンドコ節もしていました。どれも楽しいです。運動以外に鍵盤ハーモニカもしていて、肺活量にいいです。ただ参加するだけではなく、おしゃべりも楽しいから積極的に参加します。
家では	テレビを見ながらも身体を動かしているよ
平成30年は	1番年上だけど、からだのためだからいっぱい動くよ！



町内小中学校へ新米プレゼント (11/17)

JA びらとり（仲山浩代表理事組合長）から町内の小学校・中学校へ新米「ななつぼし」110キログラムが寄贈されました。

仲山組合長が平取小学校を訪れ、児童代表3人に手渡しました。

寄贈された新米は、学校給食で子どもたちに提供されました。

中山民俗舞踊芳誠会 奨励賞受賞 (11/18)

北海道文化団体協議会より、奨励賞を受賞しました。芳誠会は、昭和61年より5名の会員でスタート。現在は10代から90代と幅広い年代の会員20人が練習を懸命にし、多くの発表などに参加。その積み重ねが受賞に繋がりました。廣田誠子さんは、「これからも、大好きな踊りをみんなで元気に続けていきたい」と喜びの声をあげていました。



昭和の証人に学ぶ (11/18)

町内の高齢者が、昔の様子などを語りあう催しが、びらとり温泉ゆからで開かれました。昨年度に引き続き「町民税1%まちづくり事業」で、高齢者から聞き取りをし冊子にまとめた有志の実行委員会（互野勝弘委員長）が主催しました。会場では、平取の懐かしい写真の上映や、簡単な健康体操などで、楽しいひとときを過ごしました。

平取町災害机上訓練 開催 (11/27)

自治振興会では、各自治会員を対象に、平取町災害機上訓練を実施しました。日本気象予報士会北海道支部、志田副支部長より気象状況について学びました。その後、平取消消防署職員から、実際の災害の時に何をしなければならないか、グループで書き出し話し合いました。このように役立てられる訓練を、今後も続けていきます。



道民芸術祭「軽音楽祭」開催（11/19）

道民芸術祭は、管内の各町文化連盟で巡回し舞台や展示などの発表の場として開催しています。今回、平取では管内でも初めての軽音楽祭が開催されました。町内から、ボーズ・ハーフ、to the point の2バンドのほか、新冠町、新ひだか町、浦河町からの参加もありました。懐かしい曲がたくさんあり、160人の観客で盛り上りました。



中学生人権作文 表彰（12/13）

札幌地方大会日高地区大会にて、振内中学校の猪俣沙季さん（1年）が支局長賞、長野結来さん（1年）が奨励賞を受賞しました。振内中学校で札幌法務局日高支局より表彰状が手渡され、笑顔を見せっていました。作文は、猪俣さんが「いじめ」から仲間の大切さ、長野さんが「子供とは」から、子どもも一人の人間として尊重すべきことなどを書いてくれました。

アイヌ文化の継承・振興 協定書

平取アイヌ協会、王子木材緑化（株）北海道支店、平取町が、町内に所有する王子グループ社有林において、地域ならびにアイヌ文化の保全および振興に向けた協定を交わしました。対象地は、芽生に建設中の平取ダム周辺の山林でチノミシリの保全と重要文化的景観に隣接する額平川沿いの山林の景観保護が目的です。



中央公民館イルミネーション

中央公民館では、今年も町民の方から寄贈していただいたイルミネーションを中庭に飾りました。中庭の光は、周りのガラスに反射し、よりいっそうに輝き、来館者が楽しむことができました。来年も12月初めから飾る予定です。

よい食一生・食育だより

保健福祉課 保健推進係

毎月 19 日は家族みんなで夕食を食べよう!! 『食育の日』

『はじめよう! “乳和食”』

「乳和食」とは、味噌や醤油などの伝統的調味料に、「コク味」や「旨味」を有している牛乳（成分無調整牛乳）を組み合わせることで、利用されている食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩やだしを減らし、美味しく和食を食べてもらう調理法です。

いま、どうして『乳和食』?!

日本人が好んで食べる伝統的な食事である和食は、米飯を主食に、主菜や副菜に魚介類や野菜類を多く使い、脂肪分も少ないことから、健康的な食事と考えられています。

また、和食は、醤油や味噌などの保存性の高い発酵調味料が多く使われており、その結果、現代日本人にとって食塩が多いことも特徴です。

一方、日本人の健康にとって、極めて深刻な問題である「高血圧」の大きな原因として食塩の過剰摂取があり、このため、高血圧予防、高血圧症の治療の点から、減塩食が奨励されています。



『和食の弱点を牛乳がカバー』

「乳和食」の最も重要な栄養的効能は、食塩過剰摂取の防止です。またこれに加え、日本人のカルシウム不足の改善や、特に高齢者で不足しがちな動物性蛋白質を補うこともできます。

乳和食の“調理法”

1.だしにする

だし汁を牛乳に代えるだけで食塩を抑えてコクのきいただしになります。

2.調味料をわる・のばす

味の濃い調味料を牛乳でのばすと、旨味を残したまま減塩できます。

3.ゆでる・ゆでもどす

野菜をゆでたり、乾物を牛乳でもどすと甘みとコクを加えることができます。

4.溶く

小麦粉を牛乳で溶くと、旨味が加わり調味料の使用をおさえることができます。

5.酢を加える

温めた牛乳に酢を加えるとカッテージチーズと乳清に分離。それを料理に使うことで調理の幅がひろがります。

申込受付中!!

* 地産地消を学ぶ料理教室の開催 *

[開催日時] 平成30年2月6日(火)

10:00～14:00

[開催場所] ふれあいセンターびらとり(2階栄養・栄養運動実習室)

[参加対象] 平取町在住者 [申込〆切] 1月31日(火)

[参加定員] 30人 [参加費] 無料

[開催内容] “だしについて学ぼう!!” 和風ダシから噂のトマトだしなど!!

講師 だしソムリエ 小葉松 弘恵 氏

だし講話・調理実習・試食会



だしソムリエ 小葉松 弘恵 氏

◆問合せ・申し込み◆ 保健福祉課 保健推進係 電話: 4-6112



教育委員会からのお知らせ

思春期の心理を理解するために～第3回子育て講座～

11月25日、子育て講座をふれあいセンターで開催しました。

第3回目となる今回は、北星学園大学社会福祉学部福祉心理学科准教授で臨床心理士の、牧田浩一氏をお招きして、『思春期の心理を理解する～学童期からの関わり方～』と題して、様々な事例を交えながら成長の過程を分かりやすく説明いただきました。

また、先生からすべての子育て中のお母さんに向け、「子どもにとって、お母さんが元気でいることが一番良いんですよ」と温かいお言葉が送られました。

その後に行ったワークショップでは参加者同士の交流も図られ、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。



楽しく学びました～第38回女性の集い～



オクラホマの河野真也氏の講演

最後に、芸能発表と抽選会が行われ、素晴らしい舞踊、面白くて完成度の高いダンスが披露され、その後、抽選会となり会場は大いに盛り上がっていきました。

例年よりも、笑いと笑顔が絶えないとても楽しい女性の集いとなりました。

また、チャリティーバザーの売上金は東日本大震災支援金として、参加者が持ち寄ったタオルやティッシュは町内の各福祉施設に、それぞれ社会福祉協議会を通じて寄付されました。

11月16日、第38回女性の集いが206人の参加により開催されました。

今回は、テレビでお馴染みの芸人「オクラホマ」の河野真也氏を講師に迎え、相方の藤尾氏との出会いから現在まで、番組制作裏話、ご自身のお子さんの立会い出産時の笑い話の中から、いかに笑いが大切かなど面白いお話しがありました。

その後のフリーアナウンサー村松真貴子氏の講話では、参加者が一体となって体を動かし、早口言葉を話すことにより、笑顔で話すと声も明るくなると話されました。



村松真貴子氏の講話

教育委員会からのお知らせ

A 問題の基礎基本の定着が課題！ 無解答率は低い実態！ ～平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果から～

今年 4 月、文部科学省は例年同様に全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生の児童生徒を対象に、国語、算数・数学の 2 教科で「全国学力・学習状況調査」を実施し、9 月に調査結果が公表されました。これを受け、北海道教育委員会でも調査結果を分析・考察し、全道平均正答率、管内別平均正答率を 11 月末に公表しました。この調査結果を基にした平取町の児童生徒の平均正答率の概要は、下表のとおりです。（全国・全道・日高管内との平取町平均正答率の比較）

* A 問題：主として「知識に関する問題」 * B 問題：主として「活用に関する問題」

区分	全国平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較				全道平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較				日高管内平均正答率からみた 平取町平均正答率との比較			
	小 A	小 B	中 A	中 B	小 A	小 B	中 A	中 B	小 A	小 B	中 A	中 B
相当高い +7 以上											数学	国語 数学
高い +5 ~ +7											国語	
やや高い +3 ~ +5									数学	国語	算数	
ほぼ同様上位 +1 ~ +3			数学	国語					数学		算数	
ほぼ同様 -1 ~ +1				数学	算数		国語			国語		
ほぼ同様下位 -3 ~ -1	算数		国語			算数			国語			
やや低い -5 ~ -3						国語						
低い -7 ~ -5		国語 算数			国語							
相当低い -7 以下	国語											

出題数 小国語 A:15 国語 B:9 算数 A:15 算数 B:11 中国語 A:32 国語 B:9 数学 A:36 数学 B:15

正答数 1 問差 6.6P 11P 6.6P 9P 3P 11P 2.7P 6.6P

* 小学校国語 A の正答数は全国が 15 問中概ね 11 問、平取町 15 問中 10 問 他の分野も全国との差は概ね 1 問差程度
～小学校 6 年生～

□ 国語 AB の「話すこと・聞くこと」や算数 B の「図形」では全国平均を上回る。

■ A 問題で基礎基本の知識の定着に課題。特に国語の「読むこと」「書くこと」の分野に課題。

～中学校 3 年生～

□ 国語 A 以外の分野では全国平均以上である。

■ A 問題で基礎基本の知識の定着に課題。特に、国語の「伝統的な言語文化」と数学の「数と式」に課題。
～小中共通～

□ B 問題については、昨年同様に改善傾向にある。特に記述問題に対しては、次の児童生徒質問紙の回答からも明らかであり、解答を書くことに集中し無解答率は概ね低い実態にある。

☆ 解答を文章で書いたりする記述問題がありましたか、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

国語 小 : 83.8% (国 77.2% ・ 道 75.2%) 中 : 75.5% (国 72.3% ・ 道 69.5%)

算数数学 小 : 75.7% (国 69.9% ・ 道 66.7%) 中 : 53.1% (国 55.4% ・ 道 51.0%)

☆ 400 字の原稿用紙 2 ~ 3 枚の感想文や説明文を書くことはやさしい。

小 : 62.1% (国 40.3% ・ 道 45.5%) 中 : 49.0% (国 37.3% ・ 道 42.0%)

■ A 問題については小中ともに、繰り返し基礎基本の定着に向けた取り組みの充実を図る必要がある。
<正答率の低かった問題や全国平均に比べて極端に低い問題>

小学校：漢字を書く（対象・希望）、手紙の後付け、5 ÷ 9 の分数表示、仮平均からの平均値算出

中学校：10-6 ÷ (-2)、漢字を書く（規模・延期）、回転移動の説明、意味理解：急がば回れ

学習習慣形成に向けた、規則正しい一日の生活リズムを！

学力調査と同じ日に学習状況調査も実施し、児童生徒質問紙の回答から平取町の児童生徒の実態を知ることができます。全部で90程度の質問項目がありましたが全国・全道平均と比べながら顕著なものを紹介します。

(写真は二風谷小学校平取町へき地複式公開研究会より 11/29)

□自分には良いところがあると思う・・・自己肯定感

小: 72.9%(国 77.9%・道 75.0%) 中: 79.6%(国 70.7%・道 69.9%)

□今住んでいる地域の行事に参加している・・・地域行事参加

小: 86.4%(国 62.6%・道 54.3%) 中: 61.3%(国 42.1%・道 34.4%)

□学校へ行くのは楽しい・・・学校快適率

小: 83.7%(国 86.3%・道 84.1%) 中: 81.7%(国 80.9%・道 76.9%)

□先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれますか

小: 91.9%(国 85.1%・道 84.8%) 中: 93.9%(国 75.5%・道 76.0%)

□国語の勉強は好きですか

小: 48.6%(国 60.5%・道 60.9%) 中: 71.4%(国 69.9%・道 74.0%)

□算数・数学の勉強は好きですか

小: 72.9%(国 65.9%・道 63.9%) 中: 63.3%(国 55.4%・道 53.2%)

(上記6問は、A: そう思う B: どちらかというとそう思う の合計の割合)



*特に地域行事参加については大きく全国平均を上回っています。国語や算数・数学の勉強の好き嫌いが概ね今回の結果に影響を与えています。分からることは先生が教えてくれるので、基礎基本からのスタートを！

<学習時間・読書時間・テレビ・ゲーム・メールのデータは次の通りです。>

*一日（月曜日から金曜日）の平均的な学習時間1時間以上の割合

□小: 48.6%(国 64.4%・道 57.1%) ■中: 44.8%(国 69.6%・道 64.2%)

*一日（月曜日から金曜日）の平均的な読書時間30分以上の割合

■小: 24.3%(国 36.5%・道 35.6%) ■中: 40.8%(国 29.2%・道 31.4%)

*テレビ等視聴3時間以上の割合

□小: 29.7% 29.7%(国 32.7%・道 33.3%) ■中: 22.5%(国 25.3%・道 27.5%)

*ゲーム2時間以上の割合

■小: 21.6% 21.6%(国 31.1%・道 38.0%) □中: 37.0%(国 37.6%・道 43.1%)

*通話・メール・インターネット2時間以上の割合

□小: 8.1% 8.1%(国 12.0%・道 15.8%) 中: 36.7%(国 32.2%・道 37.7%)



テレビ・ゲーム・携帯（スマホ）については改善傾向にあります。しかし一日の学習時間を見ると全国平均を極端に下回っています。家庭における学習時間の目安は、学年×10分+10分で、小学校6年生では70分、中学校3年生では100分が基本となります。学習習慣形成に向けて、一日の生活リズムを確立し、規則正しい生活を送る必要があります。

学校や平取町などでは学力向上に向けて、次の内容に取り組んでいます。家庭においても健やかな児童生徒の健全育成のため連携して取り組んでいきましょう。

平取町としての学力向上策（各学校や平取町などの主な取り組み例）

- ◆少人数指導による個に応じた指導の充実: TT（チームティーチング）指導や習熟度別指導の充実
- ◆標準学力テスト実施（全学年）：児童生徒の実態把握による指導の充実
- ◆放課後（放課後子ども教室含む）や休業中の学習サポート事業の充実：学習機会の提供
- ◆公営塾「びらとり義経塾」
- ◆チャレンジテストの効果的な利用
- ◆各種検定事業参加（漢字検定・英語検定）：学習意欲の向上
- ◆家庭学習時間の設定 学年×10分+10分 家庭学習強化週間の設定
- ◆指導方法の工夫改善 ノートと板書の一体化・振り返りの時間の設定：授業改善
- ◆学習規律の徹底（学習に必要な物・発表の仕方・姿勢や返事など）

教育委員会からのお知らせ

自分と勝負 全国と勝負！～スポーツ少年団員「体力テスト会」～



11月4日、町民体育館で教育委員会とスポーツ少年団本部の共催により「体力テスト会」を行いました。

町内の各スポーツ少年団員を対象とし、6少年団から計46人が参加しました。

測定種目は、例年どおり日本体育協会が奨励する運動適正テスト5種目で、今までの自己記録や全国平均値と比較することができるため、団員たちは力を振り絞り、種目に臨んでいました。

年齢ごとの種目別平均値では、特に立ち幅とびで大きく全国平均を上回り、男女合わせた14年齢中、全年齢が平均値を超えるました。

また、種目の数で最も多く全国平均を超えたのは、6歳・8歳・11歳のいずれも女子で5種目中の全種目で平均を上回るという素晴らしい結果となりました。その中で最も参加の多かった11歳女子の具体的な数値は下記のとおりです。



◆「11歳・女子」6人の平均値

平均	立幅とび	上体起こし	腕立て伏せ	時間往復走	5分間走
平取町	178cm	25回	46回	39m	1,060m
全国	165cm	21回	27回	39m	1,056m

(全国平均値は平成29年3月現在)

北海道キャリア教育サミット



10月31日、小中高一貫ふるさと教育推進事業の研究指定を受けている、道内各地の学校を集めた報告会「北海道キャリア教育サミット」が札幌市で開催されました。

平取小学校6年生の水野優希さん、藤田華那さん、平取中学校3年生の船越墨さん、平取高等学校2年生の川奈野緒美さん、藤井里美さんの5人が代表して、平取特産のトマトやアイヌ文化など、郷土愛についての各学校での取り組み内容を紹介しました。



また、平取高等学校の生徒がトマトを使ったクッキーを作りし、平取町のブースで代表児童生徒が配布するなど、ふるさと平取町をPRしてきました。

サミットでは、意見交換も行われ、集まった各地の児童生徒の大半が平取町を知らず、住む町を知ってもらうためにはどのようにすべきか、子どもたちとしての課題や発見もあったようです。

博物館コラム「アイヌ口承文芸の役割」

二風谷アイヌ文化博物館のステージには最近、幅 6 メートルもある大型スクリーンが設置されました。

12 月 15 日まで開催された第 23 回特別展「沙流に伝わるアイヌ口承文芸の継承」の期間中は、このスクリーンを使用して現在もアイヌ語教室で活躍されている最年長 4 名のエカシ（お爺さん）フチ（お婆さん）たちによるアイヌ口承文芸のビデオ作品が上映されました。

また、特別展関連事業として 10 月 15 日と 11 月 23 日に開催されたミニ講座「アイヌ語にふれてみよう」でも主にアイヌ口承文芸を紹介させていただき、とても好評を博しました。その面白さ、カッコよさを多くの方々に感じ取っていただけたように思います。

アイヌ口承文芸は大きく 3 つのジャンルに分けることができます。

まずは「ウエペケレ（散文説

話）」。これは話し言葉に近い形で語られます。自分の生い立ちが紹介され、何か事件が起きて、良い行いをした人はよい結果に、悪い行いをした人は悪い結果に終わるというので、世の中の善と悪のモラルをしっかり学べます。日本の昔話に一番近い形だと言えます。



二風谷アイヌ文化博物館に設置された大型スクリーン

次に「カムイユカラ（神謡）」。謡という字からも分かるとおり、謡うように語られます。サケヘ（繰り返し言葉）が 1 行ごと、あるいは何行かごとに入って話が繰り広げられます。このサケヘが「リットウンナ」なら雷の話、「エパウ」なら狐の話などと分かります。語り手は、これら雷や狐などの神様で、神から見たこの世界の物語です。カムイユカラからは動物や、さらには道具でさえも神様で、それら神々は人間とは対等な関係なのだというアイヌの考え方方がよく分かります。

そしてもう 1 種類は「ユカラ（英雄叙事詩）」です。空を飛び、水の中を進み、例え殺されたとしてもすぐに生き返ることができる超人たちの戦記、といったところです。節を付けて、レブニ（拍子木）で炉端を叩きながら語られます。聞き手もただ聞くのではなくて同じくレブニで拍子を取り、盛り上がる場面になると「ハッ」とか「ホッ」というハッヂエ（合いの手）の声を発することさらに盛り上げていきます。ユカラは二晩も三晩もかけて 1 つの物語が語られるというとても壮大な物語です。

これらアイヌ口承文芸に興味を持ち、聞いて内容を知ることはアイヌ文化を理解し、そこに含まれる多くの知恵を知る良いきっかけになると思います。

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

「健康」に
自信ありますか?

すこやかだよりでは、一昨年は「糖尿病」、昨年は「高血圧症」、そして今年は「脂質異常症」をテーマに情報を伝えました。

みなさまの健康にお役立てできたでしょか。「からだの調子が良いから大丈夫」「薬を飲んでいないから健康」と考え、「生活習慣病はまだ関係ない!」と考えている方も多いでしょか。

しかし、これらの疾患の初期は自覚症状がないことが多く、気がつかないうちに発症していることもあります。

平成27年度の平取町での特定健診受診者のうち、血液検査の基準値を超えた者の割合(予備軍も含む)は、糖尿病61・9%、高血圧症45・0%、脂質異常症49・9%でした。

また、既に治療している者の割合は、糖尿病8・7%、高血圧症29・2%、脂質異常症25・3%でした。治療をしないなくても、基準値を超えている予備軍の方も多くいることがわかります。

「健康」の判断を
何でしていますか?

美味しく食事ができたり、ぐっすり眠れたり、いつもどおり仕事ができたりすることで、「健康」を感じている方も多いのではないかでしょか。

自身が感じる体調に加え、定期的に健診を受診することで、からだの中の状態を知ることができます。

また、生活習慣病を早期に発見・治療することで、より長く「健康」に過ごすことができるかもしれません。

健診を
「健康」につなげよう!

① 健診は毎年必ず受けましょう!

② 特定保健指導の対象となつたら必ず受けよう!

特定保健指導とは、生活習慣の具体的な改善を目指して、保健師、栄養士から受けられる保健指導です。生活習慣病のリスクが高い今だからこそ、少し立止まって、生活習慣を見直すチャンスです。健診の結果により特定保健指導の対象となりましたら、保健師からご案内いたします。



【お問い合わせ先】
【健診申込先】
保健福祉課 保健推進係
(ふれあいセンターびらとり内)
健康に関するご質問や
ご相談をお待ちしています!
☎ 4-6112

には自覚症状がないことが多いです。だからこそ、毎年受けて、数値の変化を比較することが大切です。検査結果が良くなつていれば励みにもなります。生活習慣の傾向と改善するポイントを見つけるためにも年に一度は必ず受診しましょう。

最後に受けたのは
いつですか?

今年度、最後の健診の一案内

症化をふせぐためには肝心です。また、服薬を開始しても、薬だけには頼らず、生活習慣を見直すことも大事です。

最後に受けたのは
いつですか?

北海道対がん協会の検診車による特定健診、後期高齢者健診、各種がん検診等を行います。今年度、まだ健診を受けっていない方は、ぜひこの機会に受診してください。

守ろう健康!~
日時 平成30年2月7日(水)
6:30~10:30

場所 ふれあいセンターびらとり
※料金等の詳細につきましては、折込チラシにてご確認ください。

図書館へいこう

平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00 土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『猫ヲ捜ス夢』／小路幸也

『おらおらでひとりいぐも』

／若竹千佐子

『ドレス』／藤野可織

『大獄 西郷青嵐賦』／葉室麟

『決戦！賤ヶ岳』／木下昌輝ほか

『奔流恐るるにたらず』／逢坂剛

『インフルエンス』／近藤史恵

『カネと共に去りぬ』／久坂部羊

『詩人なんて呼ばれて』／谷川俊太郎

『一〇五歳、死ねないのも困るのよ』

／篠田桃紅

『太陽と乙女』／森見登美彦



【家庭・生活】

『魔法のホットケーキミックスおやつ303』／学研プラス



『ぜんぶ簡単どんぶり』

／きじまりゅうた

『オープン料理とておき』／野口真紀

『コンビニかけ合わせグルメ』

／ディスク百合おん



【社会・その他】

『撮ってはいけない』／飯野たから



『宅配クライシス』／日本経済新聞社

『100年後も見たい 動物園で会える

絶滅危惧動物』／ナショナルジオグラフィック

『松浦武四郎北の大地に立つ』

／合田一道

【絵本】

『パンダおやこたいそう』



／いりやまさとし

『おんなじおんなじもんちゃん』

／とよたかずひこ

『ノラネコぐんだんアイスのくに』

／工藤ノリコ

年末年始の休館のお知らせ

次の日程のとおり年末年始・祝日の休館日となります。

12月30日(土)～1月5日(金)

1月 8日(月) 成人の日

1月 9日(火) 振替休館日



◆12月29日(金)は午後6時まで開館しています。

◆1月6日(土)・7日(日)は

午前9時30分より
開館します。

お正月休みでひまを持て余す事はありませんか？休み中に本を読もう！という方も、

ひまだから映画でも見ようかな…
という方も、休館の前にぜひご来館ください！

休館中の図書の返却はふれあいセンター
びらとり正面玄関横の返却ボックスに入
れてください。

CD・DVDは破損の恐れがありますので、図書館の開館時間内にお越しください。

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程

1月11日(木)／2月1日(木)

【振内地区】10:00～11:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】11:30～12:30 贯気別生活館

【二風谷地区】13:45～14:15 二風谷生活館

【紫雲古津地区】14:45～15:15 紫雲古津生活館

□貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。

□利用者カードがなくても、貸出できます。

12月の休館日 25・30・31日

1月の休館日 1～5・8・9・15・22・29日

2月の休館日 5日



